

防災力向上のまちづくり 2

木造密集市街地の防災力向上まちづくりワークショップの2回目を行いました。3回からは各町内会でのワークショップを行います。5つの町内での話し合いはこの回で一区切りです。今後を視野に入れて、多様な人々にワークショップに入っていました。

☆多様な人々とは？

多様と言っても、今回は女性の方へ参加をお願いしていただきました。子ども会の役員の女性やPTAの女性が参加してくださいました。また、地域に入り込んでまちづくりをしている若者も参加してくださいました。



☆女性が入ると…

まちづくりのワークショップというと、たいていは町内会長を始めとする高齢男性のみが参加してくださいます。今回は、あえて女性にもお声かけいただくようお願いしました。

テーブルファシリテーターに尋ねたところ、女性がいるといつもと比べ、いつもよりもずいぶんと柔らかい雰囲気が進んだということでした。

事前の準備でも専門用語はできるだけ避けたり、専門の知識がなくてもわかるように配慮したりしました。また、女性の発言を引き出すようテーブルファシリテーターをお願いしました。



☆話し合いは？

平易な言葉ではありますが、ソフト対策の重要性が盛り込まれたり、自分たちでできることが話題になったりと前向きな内容になりました。

初めて参加する女性に配慮してくださる男性が各グループに何人かいらしたお陰で、女性の発言の機会も確保され、話し合いもヒートアップせずに進みました。

また、今後、このような話し合いの場を設けたいとコメントが各グループから出てきました。

☆今後は子どもの参加の機会もつくっていきと、より防災の趣旨に合うのではないかと思います。